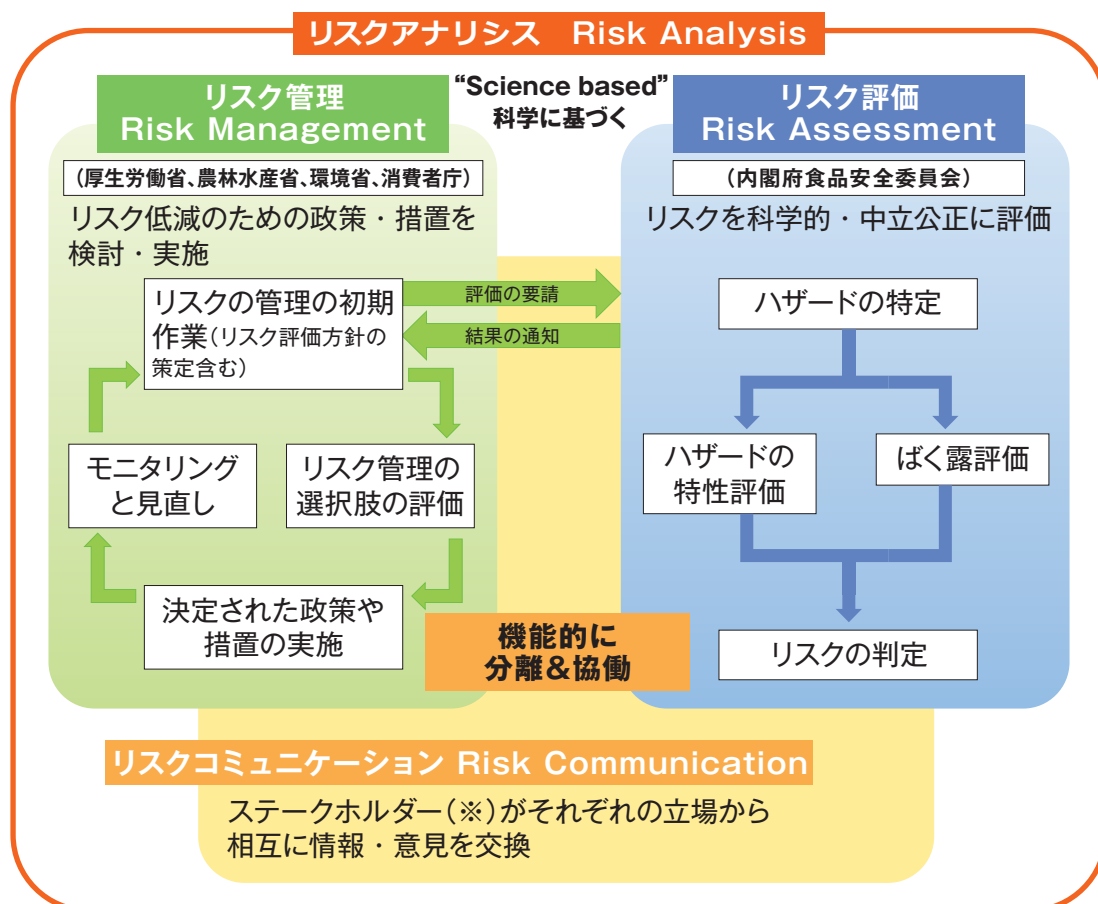


「食の安全」を科学する

食品安全委員会は、国民の健康保護を最優先として、食品の安全性を確保するためのリスク評価や、リスクコミュニケーションに取り組んでいます。

食品の安全性を確保するしくみ(リスクアナリシス)



※ステークホルダー

関与者、利害関係者のこと。一般市民（消費者、消費者団体）、行政（リスク管理機関、リスク評価機関）、メディア、事業者（一次生産者、製造業者、流通業者、業界団体など）、専門家（研究者、研究・教育機関、医療機関など）といった者が該当。

リスクアナリシス

出典：食品安全委員会「食品の安全性に関する用語集」

食品中に含まれるハザード（ヒトの健康に悪影響を及ぼす原因となる可能性のある食品中の物質又は食品の状態）を摂取することによってヒトの健康に悪影響を及ぼす可能性がある場合に、その発生を防止し、又はそのリスクを低減するための考え方。

リスク管理、リスク評価及びリスクコミュニケーションの3つの要素からなっており、これらが相互に作用し合うことによって、より良い成果が得られる。

用語集のリンクはこちらから。
ぜひご活用ください。

